

# 橈骨遠位端骨折の手術で入院された患者様へ

ID ( ) 氏名 ( ) さん

日付	/		
経過	手術前日	手術日（術前）	手術日（術後）
目標	入院生活や手術について理解できる。 不安や心配が軽減される。	不安なく手術を受けられる。	全身状態が安定し苦痛がない。 創部の安静が保てる。
内服	いつも内服している薬を看護師に渡してください。	医師の指示がある薬のみ内服していただきます。	
注射		点滴を開始し、翌朝まで継続します。	 抗生物質の点滴をします。
リハビリ			
処置			三角巾で固定します。
食事	入院後、食事ができます。 ( ) 時以降は食べないでください。	食事はできません。 水分は ( ) 時まで摂ることができますが、 以降は絶飲食になります。	医師の許可があれば、飲水が可能になります。 
安静			手術した側の腕を必要時、クッション等で挙上します。
排泄			状態により、おしっこの管が入った状態で帰室する場合があります。
清潔		体拭きを行います。 医師の許可があれば、シャワー浴をします。	
説明 (その他)	主治医と麻酔医から手術の説明があります。 病衣、バスタオル、おむつ等の準備物を看護師が確認します。 そのほか疑問や不安な点があれば、いつでもご相談ください。		痛みがある場合は、我慢せずにお知らせください。 

注1 この予定は現時点で考えられるものであり、今後検査治療等を進めていくに従って変更となる場合があります。

注2 入院期間は現時点で予想される期間です。

# 橈骨遠位端骨折の手術で入院された患者様へ

ID ( ) 氏名 ( ) さん

日付	/	/	/
経過	術後1日目	術後2日目～	術後7日目～
目標	合併症が起こらない。 術後の痛みがコントロールできて歩行が安定する。	リハビリを継続し日常生活に近づく。	出血や感染がなく、創部が閉じる。
内服	医師の指示のもと、内服を再開します。		
注射			
リハビリ	術後1日目から、リハビリを開始します。		
処置	三角巾固定し、手術した側の腕の挙上を続けます。	傷口の状態を確認させていただく場合があります。 10時頃までは、お部屋に居てください。	手術7日目以降、全抜糸します。
食事	医師の指示のもと、食事を再開します。		
安静	医師とリハビリスタッフの指示のもと、体を動かし、歩行の安定性を確認します。		
排泄	状況に応じて、おしっこの管を抜きます。		
清潔	体拭きをします。 術後は抜糸するまで原則入浴できませんが、許可があれば、傷口を保護したうえでシャワー浴ができます。		
説明 (その他)		リハビリを継続し、退院に向けて頑張りましょう。	

注1 この予定は現時点で考えられるものであり、今後検査治療等を進めていくに従って変更となる場合があります。

注2 入院期間は現時点で予想される期間です。